



海峽史志

甲編

抄本

へ遠13
2475
92



13
2475
92

徳倉見聞志四編卷或集



目録

青砥在馬の村友徳お徳馬

内形と村友徳乃支

毎も喜徳丸馬の村友徳お徳馬

内形 村友徳乃支成徳馬

中入の友徳乃支成徳馬

叙爵乃后を本を力小活家と
年一列のそむ少一のそ性とも
きさうぞしく云用わそ子百の合
保内も情まもど例うかむ食
凍一ゆか負若あはは分
あさぐひしくお成あく意遊深く
佛美菩薩の悲願も印

きやどのう海がーあ親一
うのう遊成流さんそさ
と高ききー西遊成元
そくううう彩歌好曲の華
いのびう神一ゆささう
と車一え志がー成所う
うう遊少屋の費と

吉の由え下いし切の廣氏が
斯乃あしこの人西んく天小
乃もあしとそ一内粒入道の胸
中か智らしと末代あは首さし
此書え垂練珠のくもも足馬
このちんれんを玉ハ石も用
かゆゆん友縁が廣進仁意

乃徳成治久しと内粒の眼力が
らととそ匹夫乃中ん世成徳
か一文王ハ品徳と知くそ
つげ高紀ハ張島成師とそ
今内粒入道ハ青徳在妻の耐友徳
とゆしと平の成道と助けと
ゆふそと天晴の梅意と同く

十月十二日 將軍家乃 作と
命録元年より 仁治二年に
成級乃武法して代為軍
きび二任の禪尼の定り
き 所成今改むい
免角生しとあ
不馬人知乃西行
新歌

折曲を 遊法乃 以断を
も 人む 情し
熱し 人 長
月 遊 法 乃 以 断 を
傾城 白物子 小 款
肉奏の 沙法 度
雙六 口 一本 の 結 負

皆博奕の根元は〜と云
と急多ふ外乃如〜と
今ごつふ起〜と云
停止と云〜と云
法〜と云〜と云
小〜と云〜と云
依〜と云〜と云

淳本乃周〜と云
今〜と云〜と云

つゝ

声息所法奥入と云

附教生禁断乃事

おも〜と云
今日故と云

公乃出娘と内頼乃程子と
山年二十は成程少公軍兵
中乃内子入流ひて
為軍敵乃声息折に備え
終ふ日之月声敵入おゆ流
成乃新之ものさうく推
幸ふ是中さうく徳念

中乃能のい大方をいひて
多見世をも皆人し何あうね又
歩頃ハ人く殺生成ふのそ大志
高敵さうく下くは動がまをし
猶漢とさうく奪成隣と
大と幸山さうく流さうくハ口外と
け門あゆさうく吉細と公流

飛い歎ち鱧り甲こううのの取り成り
湯ゆとと走そつつのの雜そ勢せ不ふ汲く
とと生せい成せいむむささりり蠢蠢くく虫ちゅう
群ぐん常じょうくく志し一一とと死しとと為なりり
誓ちかくく形かたち不ふ成せいをを以もつつもも念ねん滅めつ
ふふとと今いま楊やう成せいがが山さん車しや
とと皆みな同どうじじ或あるいいとと生せい擗へ乃なり

山さん歎たう檻えん奔ほんにに因よままくく友とも成せい
高たか山さん倣らう銀ぎんのの神かみ舎や架か樹じゆにに
投なるるとと重おも成せいむむいい身み命いのち成せい
地ち乃なりやや一一ととひひとと投なりり死し生せいとと
自みづか見みるるととままのの也や是こゝははいいままとと
殺ころささふふららののおおししてて甚こゝろふふか
いいししのの中ちゆう況けい心しんををめめくくああるる波なみの

眞穉成好いともか〜ハ菓成
か〜むけ 胎り成刻き能と
うら煙う成わけ矢と能一
細といろ〜事 迹成進ハ
浅う成〜科成〜
俎ふ〜のかせ 過ち成〜事
鼎中〜者らから成〜事

て 緋羽翠色ハ 欣喩と成
小 島色成〜 連鱗 鰓尾ハ
托 福と成〜 危成〜事
具 天高〜 大地 廣〜事
道 色成〜 所成〜 且成〜事
重ん〜 重成〜 小 諸魂と成〜事
十 魚の肉と成〜 殺生と成〜 大ハ

外^{そと}の^と后^ご乃^の中^{ちゆう}に^に命^{いのち}と^と救^{きう}ふ^ふ成^{なり}
當^{あた}り^り人^{ひと}天^{てん}有^あ徳^{とく}是^{こゝ}と^と更^{さら}生^{なま}
佛^{ぶつ}法^{ぽう}修^{しゆ}道^{だう}是^{こゝ}と^と入^{いり}理^りの^の門^{かど}
と^と事^{こと}あ^あま^ま人^{ひと}聖^{せい}六^{ろく}世^{せい}悲^ひ
慈^じ成^{なり}の^のま^ま君^{きみ}子^この^の庵^{あん}厨^{ちゆう}
と^とを^をご^ごく^くと^と現^{げん}生^{せい}後^ご世^{せい}
海^{うみ}の^の心^{こゝろ}教^{きやう}設^{せつ}生^{せい}の^の五^ごと^とあ^あり^り

う^うえ^え功^{こう}徳^{とく}の^の大^{だい}年^{ねん}長^{ちやう}寿^{じゆう}の^の
基^{もと}心^{こゝろ}道^{だう}徳^{とく}に^に改^{かへ}の^の始^{はじめ}免^{めん}あ^あり^りと^とん
内^{うち}教^{きやう}入^{いり}道^{だう}と^と始^{はじめ}免^{めん}許^{ゆる}ま^ま一^{いつ}支^し
在^あ法^{ぽう}白^{はく}衣^い乃^の華^け帝^{てい}も^もた^たも
有^あ毎^{まい}一^{いつ}日^{にち}の^の時^{とき}中^{ちゆう}の^の志^し
得^える^る事^{こと}樹^{じゆ}の^の文^{ぶん}書^{しよ}成^{なり}
と^とん

一六 秋口乃夏

竹二季 波卷殺生とら夏

右 魚殺害乃類い禽獣の類余

と重んぶ事 山岳中なる鳥

成守外事 人痛おり事一尾不

く 飛業の鳥と一きふ殺生

小 五つからうし事一 言成りゆ

伊法乃禁戒と事と重んぶ事

聖代乃格式 烟島乃事と事

件乃日多し事と事 奥細とに

海中 禁下 雷獵成 山狩

事と事 自今 後 諸事 世判と

守一切 停止と事と事 全

一 為 禁 過 事 遠 犯 乃

ともがら 所をわらわら 世に人
と交ふと 進ん せん 凡下の
業い わらわ 殿神 成か ぶ
乃 法本の 多獲 句 び 地際
尸 後 さら 地 一 神 社 の 多 あり
所 何 年 到 して 一 判 禁 の あり
小 所 何 年 到 して 一 判 禁 の あり

結末 あり 一 法 法 妙 日 の あり
透の 教 生 成 止 する 一 死 生
不知 乃 世 世 一 世 危 行 と 威
心 ぎ ぞ 枝 葉 の 禁 判 一 田 畑 と
所 一 徳 康 小 あり あり
一 法 一 法 と あり
その 狐 一 あり あり

熊狼の人と狝ト雁鴉の縞と
喰ふも是令々世のあはれなり
害の況や莫鳥の鳴ひ人の
口腹成者不足と多事成俤
止して悪出とやあはれ深乃
或帝の治道と多あはれ角の縞宗
の改道成あはれひ終ふう無智の

尾法師が世と端々ト事成
信ト終ふと鳴呼かきく縞と
動もあはれりの多なり事成

日蓮上人 宗門と異く夏

去後ト正徳元年八月五日
変地妖多しとあはれ風成
清有則腫疫病と終さる事成

と所々文應元年
同十八日
改元乃古書と
小治
院院尼の法と
法無經の持名抄
門秋の口蓋法抄

文智乃之人
國氏
口市川村
又与貫名
女与清
胸と
後堀門院
貞徳元

二月十六日誕生あり十二歳
清徳山の道長坊上人乃
で子あり十八歳あり
出家更禪日蓮坊より
号あり外虚有り米園持の
法成候一丈あり名成るの門
乃開きあり修り二十

歳より人道利生の志あり
と此一建長元年三月廿七日
家乃蹟因成唱えり宗門と
異なり清徳の道長坊と
成候なり地成名條在あり
事候より法を念也寺中成
道あり是よりありあり

到^に死^しん^んの^う日^に甚^は法^は房^{ぼう}の^た志^しぞ
我^わ執^し信^{しん}悟^ぶの中^の小^{せう}室^{しつ}の^た走^{そう}之^の
道^{だう}氏^し書^{しよ}記^き夫^そ下^か世^せ宗^{そう}門^{もん}と^用用^{よう}し
う^う外^{がい}中^{ちゆう}以^い横^{こう}く^せ世^せ成^{じやう}呪^{じゆ}咀^そり
の^りり^りひ^ひ文^{ぶん}章^{ぢやう}乃^なう^うら^らく^く致^ぢる^る
一^いく^くお^お修^{しゆ}意^い甚^{しん}く^くま^まと^と法^は房^{ぼう}
人^{にん}の^いい^いく^く日^に甚^{しん}法^は房^{ぼう}ハ^ハ始^しり^りし^しき

宗^{そう}門^{もん}と^と甚^{しん}く^く法^は房^{ぼう}成^{じやう}辨^{べん}端^{たん}
徳^{とく}く^くは^はも^もり^り以^い人^{にん}と^と魚^{ぎよ}口^{こう}
我^わ情^{じやう}自^じ大^{だい}お^おう^う事^じ成^{じやう}世^せの^うま^ま
人^{にん}の^ああ^あし^し災^{さい}害^{がい}の^ね根^{こん}外^{がい}と
妙^{めう}法^{はう}一^い事^じか^か也^や妙^{めう}乃^なあ^あま^まと^と乃^な
魚^{ぎよ}信^{しん}成^{じやう}徳^{とく}く^く中^{ちゆう}一^い免^{めん}一^い直^{ぢく}
事^じ一^いあ^あう^うか^か一^いあ^あま^まは^は法^{はう}長^{ぢやう}之^の也^や

持經波逆の男女老幼皆法
 今法園より學人外より

徳名見聞志四篇卷之三終部

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

大日本
 義守

二

電 電 電
 電 電 電

